

# 福祉建設経済委員会現地視察報告書

現地視察における調査結果について、下記のとおり報告します。

令和8年3月3日

光市議会議長 森戸芳史様

光市議会福祉建設経済委員会

委員長 田邊学

副委員長 西村慎太郎

委員 井垣伸子

委員 大田敏司

委員 小林隆司(副議長)

委員 清水祐希

委員 田中陽三

委員 新見浩明

委員 萬谷竹彦

随 行 前田紀子

## 記

- 1 現地視察等年月日 令和7年11月6日(木)
- 2 視察先 光総合病院
- 3 調査結果等 別紙のとおり

## 調査結果

日 時	令和7年11月6日(木) 13:30~15:00	
調査市等	光総合病院	
調査事項	光総合病院の現地視察	
説明者	光総合病院 院長 竹中智昭 看護部長 前田美貴 総務課長 吉岡京子 他	

### <目的>

委員会の調査事項である「公立病院等の整備と運営について」に係る調査・研究を行うため、光市立光総合病院の視察を行うもの。

### <視察概要>

近年、物価や人件費の高騰に診療報酬が対応していないなどの要因から、医業収益を上回る医業費用の増加により、全国的に病院の経営が厳しい状況にあります。

令和6年度の光市病院事業においても人件費や経費などの上昇に加え、旧病院施設の解体工事も重なったことで費用が大幅に増加したことにより、前年度に引き続き赤字決算となりました。

今回の視察では、「光市立病院経営強化プラン」に基づき、経営改善に向けて施設整備の最適化や医療DXの推進などに取り組む、光総合病院の現場の状況を把握するため、施設の見学を行うとともに、各部署で現場職員による業務内容や人員配置等の説明を受けました。

### 【視察箇所】

① 医療相談室

② 外来受付



③ 健診センター



④ 画像診断



⑤ 薬剤科



⑥ 医療安全推進室



⑦ 救急中央処置室



⑧ 手術室



⑨ リハビリテーション



⑩ 透析室



⑪ 病棟



### <所感>

#### 【田邊 学】

光総合病院における施設内の事業状況を視察し、各部署の丁寧な説明があり病院内職員の状況、施設整備の最適化と医療 DX の推進に取り組まれている事は確認できた。今後は、光市及び、周南医療圏での地域医療において、光総合病院の需要密度を上げて費用に見合った収入を得ること。全国的に、必要な医療サービスは維持しながら全体の費用を抑えるという取り組みが進んでおり役割分担や広域化を進めれば、自治体は、浮いた費用のうちの一部を、病院への送迎サービスや、公共交通機関に充当することで、遠くの患者が病院に行きやすくする等、医療の周辺領域における対応も求められています。専門職種の人材不足、国による診療報酬改定に対応する経営を行うことが重要である。地域の医療機関等との連携強化、病床利用率を増加に努めていただき「光市立病院経営強化プラン」に基づき、医師の働き方改革、施設整備の最適化、医療 DX の推進による経営改善を期待します。

#### 【西村 慎太郎】

光市立総合病院の施設や人員について、現地で実際に働く方へのヒアリングや設備の状況や運営体制について確認をさせていただきました。各課とも人員については余力が

あるという印象は受けませんでした。病棟について10対1に対しての看護師の人数については一定の人的余力があると感じました。しかしながら、産休や育休を取得されている方もおりそういった点を考慮すると一概に余力があると言える状況ではないと考えさせられました。薬剤についても在庫の管理や適正な量の確保とジェネリック医薬品を仕入れるなど経費の削減も意識されており、考え方の確認ができました。周南圏域での連携の強化の必要性や全体として経営を改善しなければならないという危機意識について、今回話をした下さった職員の方はもっていることは理解できました。アドバイザーからの指摘の内容など今後も議会として状況を注視し質してまいります。

**【井垣 伸子】**

エントランスから入ったところのロビー空間は、高い天井からたくさんの陽が差し込む明るい設計になっていて、やすらぎを覚えた。壁一面に、透明ガラスに色がついたスクエア型のオブジェが数多く展示されていて、安心感を与えていたのが、印象に残った。3階、4階のスタッフステーションや病室は見学できなかったが、それは仕方ない。2階のリハビリテーション室も明るく十分な広さがあった。食事の用意をする場所が広く、入院患者数の多さを感じた。1階の透析室がとても広く、25床としては、想像していたよりもゆったりとした感じがあった。今回の視察は午後からだったので、外来患者が多い午前中の様子も、覗いてみようと思った。

**【大田 敏司】**

この11月6日光総合病院に委員会視察に行きました、管理者を始め、病院長・総看護師長の案内により病院内を視察しました。病院事務所を始め、外来診療所や検査室および手術室など、また、病室や調理室・薬剤室など丁寧な説明を受けました。

受付事務室には沢山の正職員が事務をしておられ、ニチイによる事務作業は受付窓口のみだとのことでした。人件費高騰と言っておられ、赤字経営に陥っておられますのですが、なぜなのかわからないのですが、医師とか技術師の雇い入れはされなくて不思議であります。

もう少し、病院の経営状況を考えられたらと思われまます。

**【小林 隆司】**

光市立光総合病院における各診療科の人員体制や業務内容等について理解を深めた。一部の診療科では、ライフステージにより休職している人材の補充が間に合っておらず、業務負荷や精神的負担が高まっているように感じた。また、業務の性質上、24時間体制で運営していることで、いつ呼び出されるかわからない”緊張感“に常にさらされているように感じた。安全配慮義務の観点から、職員に対するきめ細やかな精神的ケアが必要と考えた。一方、薬剤の在庫管理を複数人でチェックし、その情報が職場全体で共有され

ていること、また使用期限の迫った薬剤から優先的に処方されるなどの工夫がみられ、薬剤の廃棄削減に取り組まれていると感じた。DX を活用した業務の効率化をより推進することに加え、作業の工数を勘案した人員配置を検討すべきと感じた。

**【清水 祐希】**

各部署を回り、業務内容や職員の人数、勤務形態をメインにヒアリングした。市民の健康と命を守るために、職員の皆さんが尽力されていることが理解できた。

緊急の夜間対応も、呼び出しでの対応でカバーしている。しかし、部署によっては職員数を減らしてもいいのでは？と思う部署もあった。もう少し工夫できるところもありそうなので、もう少し深堀していきたい。

**【田中 陽三】**

光市立光総合病院が大きな赤字を出す経営状況となっており、その要因や改善への取り組みなどを知るために現地視察をさせていただきました。

病床利用率が低下している中で、現場にはどのような影響や変化が生まれているのか、課題や改善の取り組みはどのようなものがあるのか。

対応いただきました職員の皆様ありがとうございました。

今後の委員会活動に活かしてまいります。

**【新見 浩明】**

福祉建設経済委員会で光総合病院を視察しました。地域医療連携室や放射線科、栄養科、透析室などを見学し、職員の皆さんからそれぞれの部署での体制や人員、勤務時間、病床数、業務内容などについて説明を受けました。どの部署でも、限られた人員の中で市民の健康を守るために努力されており、安心して医療を受けられるよう支える姿勢が強く感じられました。一方で、部署によっては人員の確保が難しいことなど、経営に関わる課題もあります。これからは市内の医療機関同士がより連携し、限られた資源を有効に活かしていく工夫が求められます。市民にとって大切な地域の病院が、これからも持続的に運営できるよう、市としても経営や運営の方向性をしっかり考えていく必要があると感じました。

**【萬谷 竹彦】**

救急外来・画像診断・リハビリ・薬剤科・手術室・病棟等、様々な施設を視察させていただきました。それぞれの職員が頑張っているのが分かり、やはり一つ一つの施設を見学し説明して頂くことも必要だと思いました。そして安全で安心な医療提供の工夫が随所に見られたのも良かったと感じています。一方で、夜間対応の負担軽減といった課題も感じ、医療現場の厳しい実情を改めて実感しました。予算決算、年間の外来、入院者数等の資料

と共に、現場の声を聞くことの大切さを改めて感じた視察でした。今回の視察を通じて得た知見を、今後の市政運営に活かしていきたいと思えます。